

# 常任委員会審査から

審査等の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

全文は市議会ホームページに掲載しています。

## 総務委員会

■G20岡山保健大臣会合に向けてムードを醸成

**委員** ●平成31年（2019年）10月開催のG20保健大臣会合は、市民が健康を考える機会の一つになる。どのように市民に伝え、意識を高揚させていくのか。

**市** ●本番に向けて節目ごとに開催する200日前イベントなどでは、ターゲットやテーマを設定し計画的に進めていく。マスコミ等の協力ももらいながら意識の高揚に努めたい。

**委員** ●早い段階で開催に向けたまち全体の雰囲気づくり、歓迎ムードの醸成が必要では。

**市** ●デジタルサイネージの活用やカウントダウンボードの設置、主要道路へのフラッグ等の掲示で周知を図っていく。

## 保健福祉委員会

■園児の健康・安全を守る

ー平成31年（2019年）の夏までに、市立幼稚園の遊戯室等に空調設備を整備するー

**委員** ●普段、園児が生活する保育室に設置しないのか。

**市** ●31年夏に間に合うことを第一に考え、遊戯室等に空調設備を設置する。今後のクラス編成等も見つつ、保育環境の充実も可能な範囲で工夫していきたい。

**委員** ●保育環境整備、特に空調設備の整備については、是非計画を策定してもらいたい。

**市** ●個々の施設で保育環境を検討しなければならない。併せて、空調設備の整備も整理したい。

## 環境消防水道委員会

■可燃ごみ広域処理施設候補地の事業執行に附帯決議

ー岡南環境センターの敷地が建設候補地として決定されたことに伴い、測量等に着手するための債務負担行為を設定するー

**委員** ●地元説明会の具体的な日程はどうなっているのか。

**市** ●平成31年1月中をめどに日程調整している岡南、福浜、芳泉学区の町内会長への説明会の中で、近隣町内会の説明会についても相談する予定にしている。

**委員** ●地元説明の計画等が固まっていないのに、地元と話すことが心配だ。

ー委員会の総意として「対象となる地元への説明を丁寧に行い、理解に努めること。本委員会を初め議会に逐次説明や報告を行い、業務を執行すること」との附帯決議を付したー

## 経済委員会

■7月豪雨で被害を受けた冠光寺池の復旧は31年3月末を目標

**委員** ●これまでの説明では、冠光寺池の復旧には通常2、3年かかるということだったが、現状はどうなっているのか。

**市** ●地質調査データと被災原因等を分析した結果、国の支援、指導の下で早急な復旧が可能ということが分かり、平成31年3月末の完工を目標としている。

**委員** ●本件にかかわらず、7月豪雨に関する課題や情報を共有しておきたいので、しっかり説明してもらいたい。

## 建設委員会

■市営住宅等の入居条件を改正  
**委員** ●国土交通省から示された通知を受けて、新規入居者等へ連帯保証人を立てることの廃止など、本市の条例が改正される。通知には「入居希望者が市税を滞納していても配慮すべき場合がある」とも書かれているが、条例に市税の滞納が無いという条件を残す理由は何か。

**市** ●現在、市税の滞納が無いという条件によって、入居に支障が生じ早急な対応が必要という状況にはなっていない。

滞納にやむを得ない理由があれば他の救済措置があると思うので、現時点でこの条件の削除は考えていない。

## 市民文教委員会

■分かりやすい説明が求められる岡山芸術創造劇場（仮称）

**委員** ●整備事業費が当初の計画からなぜ70億円も増加したのか市民に分かりにくい。

**市** ●舞台設備関係費を34億円追加した。また、創造的な機能を重点的に強化していくことを踏まえ、市街地再開発組合と詳細な議論をしてきた結果である。

**委員** ●再開発事業ではなく市有地に建てる方が分かりやすいが、千日前に決定した理由を説明できなければならないのでは。

**市** ●新たな人の流れを生み、中心市街地の活性化、回遊性の向上、にぎわいの創出といった、まちづくりの視点から千日前に文化芸術施設を整備する。